

小学生が箕面の森を探検！ 「オオクワガタの棲める森づくり」森林体験イベント



箕面森林ふれあい推進センターでは、10月23日（木）、大阪府箕面市にある箕面国有林「体験学習の森」でオオクワガタの棲める森づくり森林体験イベントを開催しました。

数日來の悪天候が嘘のような清々しい秋晴れの下、箕面市立豊川北小学校4年生67人が、森のこと、草のこと、昆虫のことなど自然について考えながら森の中を歩きました。

森の探検隊

午前中は「森の探検隊」。子どもたちは5人ごとに14班に分かれ探検に出発。各班には森のことなら何でも知っていて心強い、大阪森林インストラクター会メンバー等が同行。体験ポイントは全部で34箇所あり、それぞれ「大きくなったエドヒガンの謎」「木の皮を剥いたのは誰だ」など興味を引く名前が付いており、各班で挑戦するポイントは子どもたちが選びました。ポイントには、「この木が大きくなったのはなぜ？」などの「指令書」があり、「ヒント」や森林インストラクターのアドバイスを得てあれやこれや意見交換しながら答えを考え、探検ノートに記録します。シカの被害やその対策を考えるポイントもあり、少し難しかったかも知れませんが、「楽しいな～」「へー、そーなんだ。もっと森の

ことを知りたい」「こんな山の中に来たことがない」「でも、もっと自由に遊びたい」といった声も聞かれました。



森と自然のフォトショット

午後は「森と自然のフォトショット」です。全員が自分の気に入った動植物や風景などをデジカメで撮影し、その場でプリントアウトして台紙に貼りました。ドングリや小枝、葉っぱなどで飾り付けて、自分だけのフォトフレームを作ってもらいました。少し時間が足りなくて思い通りの作品にするのが大変だったようでしたが、みんな個性のある作品に完成させて大事そうに持って帰りました。



イベントの前に学校で班分けや、役割分担（隊長、ライター(記録係)、エンジニア(写真撮影係)、キャッチアンドリリース(昆虫採集係))、探検ポイントを自分たちで決めておく取組や、また、事前に下見をした先生から自分たちがこれから行く森の様子などの話を聞いて、子どもたちの期待と学習意欲は高まっていたことも感じられました。子どもたちには、この森林体験で自分で気づいて自ら考える態度を学んでくれたと思います。

今回の体験学習について、学校で発表会をすることになっています。各班が、探検ポイントで考えたことや知ったこと、調べたことを発表してもらえるのが楽しみです。



箕面で見られる植物

- ・撮影日時 平成26年10月20日 15:12
- ・撮影場所 箕面国有林(オオクワガタの棲める森)
- センブリ(リンドウ科)

全草を乾燥させたものが健胃薬(当薬)として有名。湯の中で千回振り出しても苦みが残るのが名前の由来となっています。箕面国有林では、「オオクワガタの棲める森」、展望台付近で見つけました。日本特産種。



- ・撮影日時 平成26年10月27日 13:48
- ・撮影場所 箕面国有林(オオクワガタの棲める森)
- ヒヨドリジョウゴ(ナス科)

ヒヨドリが果実を好んで食べるのが名前の由来です。果実は赤くておいしそうに見えますが、毒なので食べないでくださいね。箕面国有林では、「オオクワガタの棲める森」で見つけました。日本各地の林縁などに自生。

箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F
URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

